

果樹・野菜の健康を守り、良質多収を保証する

ヨーヒ (葉肥) シリーズ

【ヨーヒB5】 農林水産省登録 生第52962号

天然の有機酸を主原料とした特許技術でホウ素や微量元素の吸収性を飛躍的に高めた有機酸液肥です。特にホウ素の働きを高めカルシウム、ホルモンの吸収移行を活発にして花芽分化や結実を良好にし、果実・果菜などの品質向上に役立ちます。

【ヨーヒK22】 農林水産省登録 生第52961号

特に葉緑素の生成を活発にさせ、光合成を盛んにする様に三要素・苦土・微量元素をバランス良く配合した生育促進を強化する微量元素液肥です。

【ヨーヒ2号】 農林水産省登録 生第52960号

茶樹・芝草・葉菜などの緑化促進、増収を目的に窒素・マンガン・鉄を中心として微量元素を複合した液肥で作物の耐病・耐寒・耐暑性を高めます。

【ヨーヒN15】 農林水産省登録 生第67291号

三要素の内、窒素の含有量高め、低温期の初期育成向上や樹勢の早期回復など窒素の吸収速度を高めた総合微量元素液肥です。

【ヨーヒP12】 農林水産省登録 生第62469号

この肥料は無窒素でリン酸を主成分にカルシウム・ホウ素・糖類を配合したリン酸液肥です。窒素の遅効きを抑制し、花芽分化促進や果実の熟期、着色、糖度を高めます。

【アクアマグ】 農林水産省登録 生第77497号

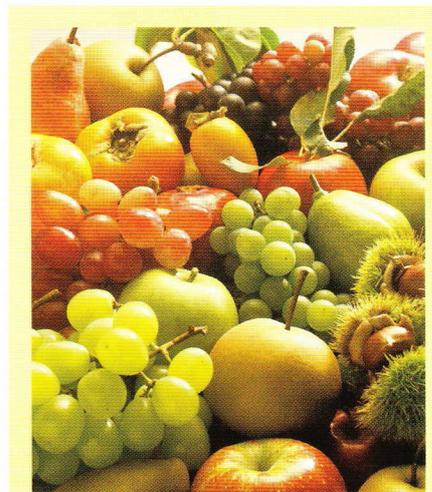
有機酸マグネシウムを主体とした液状マグネシウムはアクアマグだけです。従来の粉状肥料よりも吸収力、肥効を遥かに高めた製品です。苦土欠の防止、回復や緑化促進、果実着色、食味などの向上に優れた効果を発揮します。

【アクアカル】 東京都登録 肥飼検肥第43号

カルシウムの中でも吸収・移行に優れた有機酸カルシウムを主体にサイクロデキストリンなどの糖類や有機酸が配合されているので界面活性機能や特殊作用により安定で無駄なく吸収利用されます。

【ハイアップ】 農林水産省登録 生第52963号

葉緑素の生成を促進し光合成を高めます。三要素と微量元素の他にカルシウムを2%配合した微量元素液肥で、着花、結実、品質向上に役立ちます。



ヨーヒの特長

ヨーヒは微量元素と有機酸を中心に開発された葉面散布肥料です。良質多収を目指すには三要素の他に苦土、カルシウム、微量元素のバランスのとれた施肥設計が重要です。特に微量元素は土壌条件に左右されやすく、許容範囲も非常に狭い要素です。ヨーヒは微量元素をppm単位で補給する最適な資材です。また特殊な有機酸の効果により吸収移行性を高めた画期的な有機酸液体葉面散布肥料です。作物の品質向上、生理障害、光合成の促進、樹勢の回復などにお役立てください。

成分表

	窒素	リン酸	加里	苦土	ホウ素	マンガン	鉄	亜鉛	銅	モリブデン
ヨーヒB5	2.0	5.0	4.0	3.0	5.00	1.00	0.10	0.08	0.07	0.20
ヨーヒK22	6.0	3.0	3.0	4.0	0.70	2.00	0.50	0.08	0.07	0.20
ヨーヒ2号	10.0	1.0	2.0	2.0	0.50	4.00	1.04	0.06	0.05	0.10
ヨーヒN15	15.0	2.0	3.0	2.0	0.20	0.10	0.10	0.09	0.05	0.05
ヨーヒP12	—	12.0	1.0	—	0.50	保証成分外としてカルシウム3%				
アクアマグ	—	—	—	10.0	0.10	0.20	—	—	—	—
アクアカル	カルシウム12%									
ハイアップ	1.0	6.0	4.0	2.0	0.50	1.00	0.10	0.05	0.05	0.05

上記の成分の他にアミノ酸、有機酸、糖類などが安定材、展着材として含まれています。

使用例

作物名	散布の時期	散布の目的	液肥の種類
梅	展葉期 硬核期	果実肥大 ヤニ果軽減	B 5 B 5
桜 桃	開花3日後 満開10日後 着色後 収穫期 収穫後	結実促進 細胞分裂促進 着色促進 ウルミ果軽減 花芽の充実	B 5 B 5 K22 B 5 P12 アクアカル B 5 P12
りんご	開花～幼果期 果実肥大期	結実促進 細胞分裂・肥大促進 ピタービット軽減 熟期、花芽分化促進	B 5 B 5 K22 アクアカル P12
ぶどう	展葉期 開花後 果粒肥大期	落蕾・花振るい軽減 苦土欠乏予防 果実肥大促進・着色促進	B 5 アクアマグ B 5 アクアマグ
伊予柑 予か橘 柑類	発芽後 開花前 幼果期～果実肥大期 着色後	新梢伸長に 芽揃い・緑化促進 砂じょう数の増加 ヤニ果軽減・果肉率の向上 浮皮の軽減	K22 アクアマグ B 5 B 5 P12 ハイアップ アクアカル
桃	落果後10日～ 果実肥大期まで 着色～収穫期	新梢伸長促進 葉数の確保・みつ症軽減 着色促進	B 5 アクアマグ アクアカル B 5 P12
梨	開花後 養分転換期 果実肥大後	結実促進 結実促進葉色の確保・立ち枝の充実 果実の細胞分裂促進 豊水のみつ症軽減	B 5 アクアマグ B 5 K22 アクアカル
ナス・ピーマン シシトウ	生育初期 生育中期	なり疲れ軽減 苦土欠乏予防・回復 がく割れ・尻腐れ軽減	K22 B 5 アクアマグ アクアカル
トマト	定植後 生育期 果実肥大後	活着促進 果実肥大促進 尻腐れ軽減	K22 B 5 アクアカル
メロン・スイカ	定植後 生育期間・果実肥大後	活着促進・生育促進 発酵果軽減・つるぼけ防止 ハマキタンソの軽減	B 5 K22 アクアカル P12 アクアマグ
キュウリ	生育期間	生育促進・なり疲れ軽減 苦土欠乏軽減	K22 2号 アクアマグ
イチゴ	親株～定植後 ランナー育成後 収穫期	健全ランナー育成・活着 生育促進・クラウン肥大 チップバーン軽減	K22 B 5 B 5 P12 アクアカル
レタス・キャベツ セロリ・白菜	親株～定植後	活着促進・重量増加 芯腐れ軽減・縁腐れ軽減	K22 B 5 アクアカル
大根・人参・生姜	生育期間	生育促進・芯腐れ軽減	B 5
大豆・麦・小豆 インゲン・エンドウ	生育初期 生育最盛期 着莢期	生育促進 着花増加・落花軽減 倒伏軽減・稔実歩合増加	K22 K22 B 5 B 5 アクアカル
ホウレンソウ 小松菜	生育初期 収穫期	生育促進 緑化促進	2号 K22 N15
ニラ・ネギ・タマネギ	生育初期から	発根促進・生育促進	P12 K22
馬鈴薯・ビート	萌芽展葉期 生育初期から	萌芽伸長促進 塊茎・塊根の肥大	B 5 B 5 K22
茶	新芽・二番茶	茶葉増量・品質向上	2号 N15
花卉	生育期間	微量要素欠乏の予防・回復 カルシウム補給	B 5 アクアカル



使用上の注意

- 散布は葉の表裏に十分かけ、重複散布は行わないでください。
- 高温時の散布は朝または夕方行い、30℃を越えるようなときは使用を避けてください。
- 強アルカリ性の農薬、特に石灰硫黄合剤との混用は有毒ガスが発生しますので混用できません。
- 薬害の発生しやすい農薬や多種の混用は注意してください。また新農薬との混用は薬害の有無を試してから使用してください。
- 農薬との混用はヨーヒなどを先に薄め、その後に農薬を混入してください。(原液混合は不可)
- 肥料以外の目的には使用しないでください。
- 保管は幼児などの手の届かない冷暗所に保管してください。

日液化学株式会社

東京都板橋区坂下1-17-19

規格 1kg入り 10kg入り (N15、ハイアップは10kg入りのみ)
1箱 20本 2個